

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度	昭和58年度	根拠法令・例規等	健康増進法		
総合計画	大項目	基本構想	04 土台となる政策「安全・安心」	問 合 先	健康増進法		
	中項目	基本計画	06 誰もがいつまでも安心して暮らせるまち			担当課(室)	保健課
	小項目	施策	23 生涯を通じた健康づくりの推進			職・氏名	健康係長・江見清人
事務事業名		05	健康増進事業	電 話	64-1820		
				このシート作成に要した時間			

事業の目的		Plan
対 象 (誰・何に対して)	主に40歳以上64歳以下の市民	
目 的 (何のために)	生活習慣病予防や健康づくりに関する事項について、正しい知識の普及啓発や適切な支援を行うことにより、市民の健康保持増進、健康寿命の延伸、医療費抑制を図る。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	・ 健診の受診や健康教育・相談への参加をきっかけに、市民自らが健康意識を高め、自分の健康は自分で守ることができるようになることを目指す。 ・ 市の健康課題である肥満について重点的に取り組み、適正体重を維持する市民の増加を目指す。	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するための実施した事業	細事業名	健康づくりの正しい知識や生活習慣改善の実践方法を学ぶ教室を開催		◎
	健康教育事業	健康づくりの正しい知識や生活習慣改善の実践方法を学ぶ教室を開催		◎
	健康相談事業	心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言や支援を行い、家庭における自主的な健康管理を促す		◎
	健康診査事業 (肝炎ウイルス検診)	40歳、41歳以上で今までに検査をしたことがない市民を対象に市内指定医療機関で実施		○
	(骨粗鬆症検診)	40・45・50・55・60・65・70歳の女性に集団検診で実施		○
	(健康診査)	生活保護受給者を対象に、「生活習慣病を早期発見するための健診を実施		○
	(健康手帳の交付)	40歳以上の市民に交付。検診・相談等の記録や、健康保持に必要な事項を記載して自己管理し、自らの健康管理に役立てる。		○

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	5,281	6,601	5,791
	必要人員	人	1.29人	1.23人	1.34人
	事業費計	千円	14,755	14,424	15,530
	国庫支出金	千円	2,610	3,234	3,149
	受益者負担	千円	53	57	61
	繰入金	千円			
	市債	千円			
	その他()	千円			
	一般財源	千円	12,092	11,133	12,320
	受益者負担比率	%	0.4%	0.4%	0.4%
結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
結果指標量	人	2,840	2,491	3,701	
対前年比	%	-	87.7%	148.6%	
活動コスト	円	14,755,000	14,424,000	15,530,000	
単位当たりコスト	円	5,195	5,790	4,196	

事業の成果		(平成25年度事業)				
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
BMI 25以上の人の割合 [40~64歳(基準日年齢)]	目標値 (A)	20	20	20	23	
	実績値 (B)	21.1	24.7	25.9	到達目標値	
	達成率 (B/A)	105.50%	123.50%	71.50%	23	
成果指標設定の考え方・式や説明						
特定健診結果では、県より肥満率が高く大きな健康課題となっている。 【実績値】特定健診結果 【H25目標値】【到達目標値】健康びぜん2 1目標値(目標年度H25) ※肥満率の減少が指標となっているため、達成率を(1-(実績値-目標値)/目標値)*100に変更						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い		B
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい	<input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
市民参画度				B

進行年度 (H26年度) の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				
説明	健康びぜん2 1の評価や第2次計画の策定を通じて、市全体や地域の健康課題を明確にしてきた。平成26年度はあらゆる機会を通じて計画のPRを行う。また計画に基づいた教室の開催等に取り組み、内容については、地区の健康課題やニーズを十分に考慮して計画する。						

総合評価		総合評価
特定健診受診者が増えたことも影響してか、肥満率は悪化した。特に40代、50代男性の肥満が多く、肥満者に高中性脂肪や低HDL、高血圧者が多い。40代、50代男性をターゲットにしたメタボ対策が急務であるが、教室・相談への参加が少ない。参加しやすい体制づくりとともに、市民の健康意識の底上げに取り組む必要がある。		総合評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				
取組目標	市民の健康づくり意識の向上を図るため、より多くの市民にあらゆる機会を通じて市や地区の健康課題を情報発信する。また、健康課題の改善に向け、より効果的な健康教育・健康相談の方法を検討し、実施する。そして市の事業はもとより、関係機関や団体など、他職種連携の活動についてもコーディネートできるような連携する。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな